

2024 年 2 月 7 日

ディップ株式会社

ディップ、「ap bank fes '25 at TOKYO DOME～社会と暮らしと音楽と～」に協賛

ディップ株式会社（以下「当社」）は、2025 年 2 月 15 日（土）、16 日（日）に東京ドームで開催する「ap bank fes '25 at TOKYO DOME～社会と暮らしと音楽と～」（以下「本イベント」）に協賛いたします。



ap bank は、音楽家の小林武史氏と、Mr.Children の櫻井和寿氏に、坂本龍一氏を加えた 3 名が拠出した資金をもとに、2003 年に設立されました。サステナブルを大きな指標に据えながら、自然エネルギーや環境保全活動している方々への融資から始まり、野外音楽イベント ap bank fes の開催、復興支援活動など様々な活動を行っています。14 回目の開催となる今回、初めて東京ドームでの開催となり、本イベントの収益は全額 ap bank の活動資金として使用されます。

当社はこの度、サステナブルを重要指標にして多岐に活動する ap bank の趣旨に賛同し、協賛を決定いたしました。当日は当社サービスのブースを設置するなど、ap bank と共に活動を盛り上げてまいります。

■「ap bank fes '25 at TOKYO DOME～社会と暮らしと音楽と～」概要

公演名：「ap bank fes '25 at TOKYO DOME～社会と暮らしと音楽と～」

開催日時：2 月 15 日（土）開場 12:00 / 14:00

2 月 16 日（日）開場 11:00 / 13:00

会場：東京ドーム

主催：ap bank

オフィシャルサイト：<https://www.apbank.jp/fes25/>

■当社のサステナビリティについて

当社は、「多様な就業機会の創出 / 雇用ミスマッチの解消」「人材力・経済生産性の向上 / 働きがいのある職場づくり」「DEI の推進 / 人権の尊重」「気候危機への対応」の 4 項目を事業活動におけるマテリアリティ（重要課題）として掲げています（※1）。有期雇用労働者の待遇向上を目指し顧客企業へ時給アップを提案する「ディップ・インセンティブ・プロジェクト」や、多様性・公平性・包括性を企業文化や組織に取り入れるよう顧客企業へ働きかける「dip DEI プロジェクト」を実施するなど、労働市場における様々な社会課題の解決に取り組んでおります。

これからも「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」という企業理念のもと、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指してまいります。

（※1）当社のサステナブルな社会の実現への取り組みについて：<https://www.dip-net.co.jp/esg>

当社概要

労働市場における諸課題を解決し、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指す“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、人材サービス事業と DX 事業を運営しています。企業理念「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社（dip Corporation）

代 表： 富田 英揮（代表取締役社長 兼 CEO）

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997 年 3 月

資本金：1,085 百万円（2024 年 2 月末現在）

従業員数：2,964 名（2024 年 4 月 1 日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：人材サービス「バイトル」「スポットバイトル」「バイトル NEXT」「バイトル PRO」「はたらこねっと」、看護・介護業界の転職支援サービス「ナースではたらこ」「介護ではたらこ」などの運営、DX サービス「ロボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（プライム市場）

売上高：537 億円（2024 年 2 月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

【本リリースに関するお問合せ先】

ディップ株式会社 広報部

お問い合わせ：<https://campage.jp/dip/contact>